

Oh!Me

オー!ミー

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日 新聞日

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.303・1月28日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me 編集室 / 株式会社ヤマブラ: 近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告 / 滋賀毎日広告社: 大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行 / 毎日新聞大阪本社開発宣伝部: 大阪市北区梅田3-4-5 発行部数: 100,000部

素敵な人

近江の地で能面文化の 伝承をめざして



能面講師

伊庭貞一さん(58歳・東近江市在住)

古くから能文化が盛んで、竹生島や三井寺のように能の演目舞台になったところも数多い近江の地。しかし時の流れとともに能文化はなじみの薄いものとなってしまった。能面に魅せられた伊庭貞一さんは、近江の地で能面文化が盛んになることを目指して、能面打ち教室などさまざまな活動を繰り広げている。

最初は軽い気持ち

昔から木工が好きだった伊庭さんが能面に出合ったのは10年ほど前。勤続30年を機に退職、仏像を彫りたくなり教室に通い始めた。表情の勉強のためにと軽い気持ちで始めたのが能面打ちだった。

材料は、単なる四角の木片にすぎない

に開花した。翌年には能面展で入賞、05(平成17)年には「能面の祭典能面公募展」で「国民文化祭実行委員会会長賞」を受賞した。能面は一つ作るのにだいたい2~3カ月かかる。中でも仕上げ彫りが一番

が、ひとたび舞台の上で演者に命を吹き込まれると、実にさまざまな表情を見せることに驚いた。「名品と呼ばれる能面は喜怒哀楽の感情を一つの面で表現できる。気軽に始めた能面打ちでしたが、その世界は奥深く、極めるには一生かかると思いました」

本物に触れて 才能が開花

がぜん能面に興味を抱いた伊庭さんは京都や福井にまで出かけて名品を鑑賞、本格的に学ぶことを決意した。02(平成14)年に京都の能面師・中村光江さんの指導を受け始めると、才能はすぐ

難しく、目、口の彫りに特に気をを使うという。

「名品には奥深くに隠れた表情があり、模倣して作るのですが、0.1ミリの彫り具合の違いで表情が変わってしまいます。納得のいく作品はなかなか作れませんが、次こそはと制作意欲が尽きません。目標は能楽師の方に舞台上で使ってもらえる面を作ること。いずれはオリジナルの創作面も作ってみたいですね。」

普段から人の表情が気になり、電車などでつい、じっと人の顔を見詰めてしまうことがあるという。

能面を彫るときにはヒノキのよい香りがする。木の香りに包まれながらざくざくと無心に彫ることで精神統一、リラクセスでき、癒やしの効果があるのも魅力の一つだそうだ。



宝増(ほうぞう) 国民文化祭実行委員会会長賞

「育てる会」も設立

能楽の発表の場こそ京都だったが、能文化が育った場所は奈良、福井、滋賀と幅広い。特に滋賀県は、昔から近江井関家など有名な能面師らも活躍していた。しかし近年は停滞が目立つ。

「私が能面打ちを始めたころ、能面教室は県内に一つしかありませんでした。歴史はあるのに文化がこの地になじんでいないことを寂しく感じました」

そこで能面の魅力を広めようと、04(平成16)年に能登川、草津で教室を開講、昨年9月には長浜でも開いた。

また、近所で能楽を愛好する出路敏秀さんと共に「滋賀能楽文化を育てる会」を作り、能楽の普及・啓発に取り組んできた。中でも人気なのが「能面打ち体験教室」。能面打ちというとなじみそうだが、型紙に合わせて彫るので初心者でも作れる。現在教室の約35人の生徒には、満足して楽しんでもらえるよう指導している。

07(平成19)年には彦根城築城400年祭協賛行事で「滋賀能楽能面の集い・彦根」を開催。また絃作家との合同展を開催するなど、新しい試みにも果敢に挑戦している。

(取材・福本)

詳しくは www.gaido.jp/3031

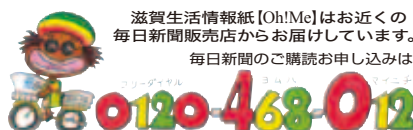


彦根城築城400年祭協賛「滋賀能楽能面の集い・彦根」 2007年11月

伊庭能面教室(草津、東近江、長浜)

◆東近江市能登川町344-12
◆TEL: 0748-42-1116

<http://www.biwa.ne.jp/~iba-tmh>



平和・靖国・憲法・教育・人権・貧困

【テーマ】『普天間飛行場の危険性除去と海兵隊のグアム移転』を考える2010滋賀集会

【講師】伊波 洋一さん(沖縄・宜野湾市長)

【日時】2月11日(木・休日) 午後1:30受付、午後2:00開会

【会場】コラボしが21 3階大会議室(大津市打出浜2-1 ☎077-511-1400)
※京阪石場駅下車徒歩3分 ※会場の駐車場は使用できません。

【協力券】一口 1,000円 何口でも結構です。集会当日も可能です。



講師プロフィール
伊波 洋一
(いは よういち)

1952年1月4日宜野湾市嘉数に生まれる。1970年琉球政府立普天間高校卒業。1974年琉球大学工学部物理学科卒業。その後1996年まで宜野湾市役所勤務。1996年から2003年まで沖縄県議会議員。2003年4月より宜野湾市長。

2・11 集会実行委員会事務局 大津市中央3丁目4番29号 ☎ 077-524-9970